

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/07/19

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	36.13	0.19
JPY/THB	0.2296	-0.0005
USD/JPY	157.37	1.17
EUR/THB	39.37	0.06
EUR/USD	1.0897	-0.0042
USD/CNH	7.278	0.005
SGD/THB	26.89	0.09
AUD/THB	24.23	0.05
USD/INR	83.66	0.07
USD Index	104.17	0.42

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.374	0.005
10Y (THB)	2.625	0.015
5Y (USD)	4.119	0.042
10Y (USD)	4.202	0.044

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,456.4	-3.5
WTI (Oil)	82.82	-0.03
Copper	9,386.0	-249.0

Stock

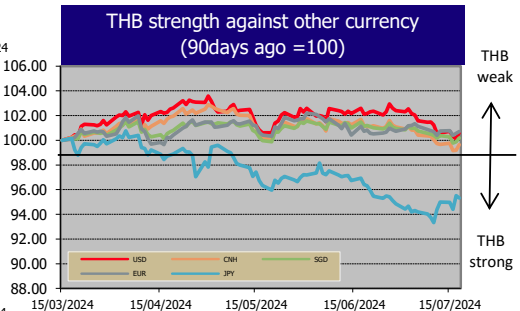
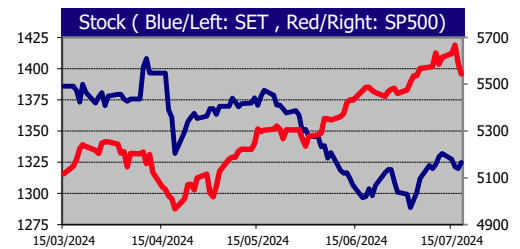
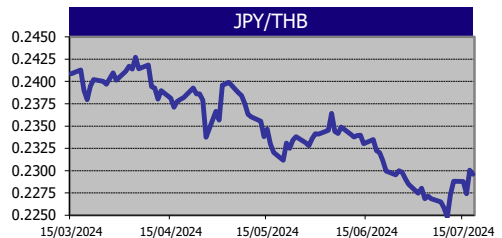
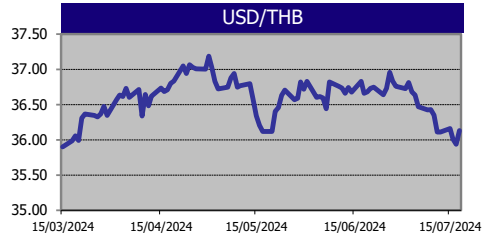
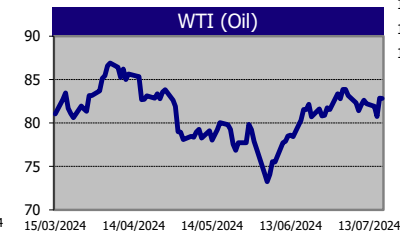
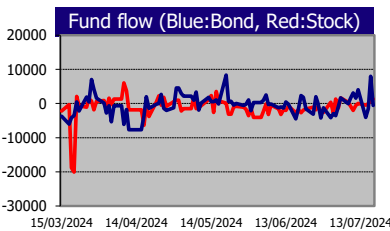
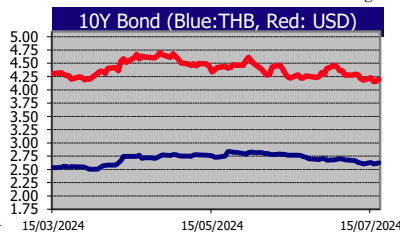
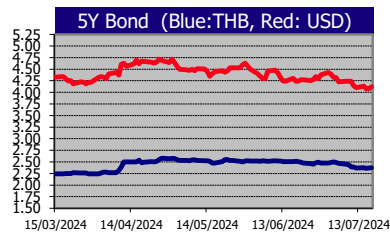
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,324.76	4.97
NIKKEI (JP)	40,126.35	-971.34
DOW (US)	40,665.02	-533.06
S&P500 (US)	5,544.59	-43.68
SHCOMP (CN)	2,977.13	14.28
DAX(GER)	18,354.76	-82.54

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	1,292	597.2
Bond net flow	(583)	-8540.1

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは小幅に上昇。前日海外時間のドル売りの流れを引き継ぎ、ドルパーツは一時下落したが、利益確定と思われるパーツ売りが入り、36/パーツちょうど付近まで上昇。その後はタイ国内の新規材料に乏しく、売り買い交錯する展開となった。海外時間では米新規失業保険申請件数と失業保険継続受給者数が共に予想より悪化したことを受けてドルが売られる場面はあったものの、米株の大幅安やECB理事会後のラガルド総裁の会見内容がドル買いのサポート材料となり、オープンより小幅上昇の36.13レベルでクローズ。

●ドル円その他

昨日のドル円は上昇。156円台前半でオープン後、前日海外時間のドル売りの流れを引き継ぎ、一時155円台前半まで下落したが、その後買戻しが優勢となり、156円台半ばまで反発し、売り買い交錯する展開の中で海外時間へ渡った。NY時間では米新規失業保険申請件数と失業保険継続受給者数が共に予想より悪化と発表された直後に、ドル円は小幅に下落したが、米株の大幅安が嫌気され、リスクオフのドル買いが優勢となった。ECB理事会後のラガルド総裁の「経済成長に対するリスクは下向きに傾いている」との発言を受けた対ドルでのユーロ売りもドル買いをサポートし、ドル円はじりじり上昇を続けると、157.37レベルでクローズ。

Bangkok Dealer's Eye

7月FOMC開催を控えて今週末からブラックアウト期間が開始となるが、期間開始前に昨日もFRB高官発言から金融政策に関する発言があった。シカゴ連銀ゲールズビー総裁は、労働市場のより急激な悪化を回避するため、金融当局は近く利下げに動く必要があると示唆した。利下げがなければ、失業率を大幅に上昇させずにインフレとの闘いに勝利する道が難しくなるとの認識を表明。ただ、利下げ開始時期については明言を避けた。また、一昨日、ウォラーFRB理事は、経済は利下げが可能になる地点に近づきつつあり、インフレが持続的に低下軌道になることを確認したいと示唆した。リッチモンド連銀パーキン総裁は、最近のディスインフレの広がりは心強いとしながら、それが持続する証左をまだ探していると発言。ニューヨーク連銀ウィリアム総裁も、過去数カ月のインフレデータは心強い内容だが、利下げ決定に必要な確信を得るために向こう数カ月でより多くの証拠を確認したいとの認識を示した。市場が年内2回利下げを織り込む中、7月FOMCでどのような議論がなされるのか注目したい。(前川)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.